

2018年度（40期） 事業報告書

自：2018年4月 1日

至：2019年3月31日



公益財団法人 関西盲導犬協会

京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

2018年度事業報告書
(2018年4月1日-2019年3月31日)

1. 公益事業部門

1-1. 盲導犬および視覚障がいに関する事業

(1) 盲導犬実働頭数(盲導犬ユーザー数)ならびに貸与者数

①盲導犬実働数(盲導犬ユーザー数)

	盲導犬実働数(頭)	盲導犬ユーザー数(人)
2018年度 実績	69	73
2017年度 実績	73	76*
増減数	-4	-3

※夫婦で1頭の盲導犬を使用する「タンデム方式」があるため、実働数とユーザー数は必ずしも一致しない。2018年度末は4組がタンデムユーザーである。

②2018年度貸与者

2018年度は13名の視覚障がい者に共同訓練を実施し、11頭の盲導犬貸与を行った。

証明書NO.	代替/新規	性別	都道府県	犬名	犬種	性別	貸与日
7405	代替	女(62歳)	滋賀県	ウイミー	LR	♂	4月29日
7406 ^{※1}	代替	女(69歳)	滋賀県	クリト	LR	♂	6月16日
7407 ^{※2}	代替	男(53歳)	大阪府	ウッディ	LR	♂	6月29日
7408 ^{※1}	代替	男(66歳)	滋賀県	クリト	LR	♂	6月30日
7409	代替	女(51歳)	滋賀県	ウニー	LR	♂	7月14日
7410	代替	女(44歳)	岡山県	エルモ	LR	♂	8月26日
7411	代替	女(41歳)	岡山県	カリオン	LR	♂	10月13日
7412	新規	女(56歳)	京都府	ハーモニー	LR	♂	11月30日
7413	代替	女(65歳)	奈良県	ケビン	LR	♂	12月20日
7414	代替	男(72歳)	高知県	マフィー	LR	♂	1月12日
7415	代替	女(67歳)	京都府	テラサ	GR	♂	1月25日
7416	代替	女(49歳)	大阪府	ルーク	LR	♂	3月6日
7417	新規	男(56歳)	兵庫県	クラング	LR	♂	3月27日

(犬種: LR: ラブラドル、GR: ゴールデン、F1: ラブ×ゴールデン)

※1 「7406」と「7408」は、「タンデム」のため、頭数としては1頭となる。

※2 「7407」はご夫婦の「タンデム」であるが、妻への貸与は前年度に完了しており、2018年度は夫の共同訓練を実施し貸与した。

③盲導犬希望者への働きかけ

・共同訓練体験の実施

新規盲導犬希望者2名に対し、2泊3日で模擬的な共同訓練(体験訓練ならびに体験生活)を行った。

④行政ならびに関係団体との連携

各種イベントでの体験歩行を通し、新規希望者掘り起しのアプローチを継続した。

(2) 盲導犬ユーザーおよび盲導犬へのケア（フォローアップ）

①フォローアップ

盲導犬ユーザーが安全で快適な盲導犬歩行ならびに生活が継続できるよう各種フォローアップを継続実施した。実施総数212件（前年度175件）

内訳

・定期	63件
・ファミリーリゼーション	13件
・共同訓練直後	23件
・犬の健康管理	50件（高齢犬の健康診断を含む）
・犬の問題行動	29件
・その他	34件

②盲導犬へのケア

・医療費の助成

フィラリア予防薬の購入費助成を継続するとともに、新たに狂犬病および混合ワクチン接種費用の助成を実施した。

・高齢盲導犬へのケア

引退を間近に控えた9歳齢ならびに10歳齢の盲導犬に対する健康診断を当協会負担で継続実施した。

③行政その他との連携

盲導犬ユーザーの状況に応じて、該当ユーザーが居住する地域の行政ならびに福祉団体等と連携を取っている。

(3) 盲導犬貸与委員会の開催

公正な盲導犬貸与を実施することを目的に、外部委員を含めた「盲導犬貸与委員会」を毎月1回実施した。

(4) 犬の育成とケア

①繁殖

2018年度の状況は次のとおりであった。

- ・出産頭数42頭（うち36頭をパピーウォーカーに委託）
- ・他協会から譲り受けたパピー頭数5頭
- ・他協会へ譲渡したパピー頭数2頭
- ・所有繁殖犬頭数25頭（オス13頭／メス12頭）
- ・AGBN（アジア・ガイドドッグ・ブリーディング・ネットワーク）の実務担当者会議に出席した。（2018年5月・10月）
- ・「子犬の早期社会化」を目的に、生後40日からパピーウォーカー委託までの約2週間、木香テラス内で子犬を飼養管理する取り組みを試験的に行った。

②パピーウォーキング

2018年度の状況は次のとおりであった。

- ・委託頭数36頭
- ・巡回指導 延べ205回
- ・パピースクール29回（127家族対象）
- ・研修 日本盲導犬協会のパピーレクチャー見学（2018年5月12日）
全国盲導犬施設連合会主催の職員相互交流事業「パピーウォーキング」に、職員3名を派遣した。（2019年2月16・17日）

③訓練犬（盲導犬候補犬）

- ・4月に採用した3名の職員に対し、盲導犬訓練士としての研修を継続している。

- ・訓練犬の健康状態をより良好に保つため、京都市獣医師会所属獣医師による木香テラスでの定期診察を継続実施した。（月2回）

④リタイア犬のケア

2018年度の状況は次のとおりであった。

- ・リタイア犬総数64頭
- ・盲導犬慰霊祭「偲ぶ会」を開催（2018年10月21日）
- ・リタイア犬の医療費、療法食フード、火葬費の助成を継続した。（5,292,636円）

(5) 訓練部職員の養成と採用

①職員のスキルアップ

- ・訓練担当職員1名を全国盲導犬施設連合会主催の資格認定試験に臨ませ「盲導犬訓練士」資格を取得させた。
- ・オーストラリアで開催された国際盲導犬連盟のセミナーで、「木香テラス」のプレゼンテーションを行った。（2018年9月）
- ・全国盲導犬施設連合会主催の研修会等に訓練士、歩行指導員ならびに関係職員を派遣した。
第4回盲導犬育成ジャパンセミナー（2019年2月6・7日）
職員相互研修事業「訓練について」（2019年2月8日）

②職員の採用

訓練士候補として正規職員4名を採用した。（うち1名は、2018年度内に退職した。）

(6) フレンドドッグ事業

ボランティアの協力を得て、リタイア犬ならびにキャリアチェンジ犬をともしない施設訪問する活動「フレンドドッグ活動」を継続実施した。

- ・高齢者福祉施設等への訪問108件
- ・療養介護事業施設利用者の来所1件

(7) 調査研究

京都大学大学院文学研究科と「木香テラスの有用性」に関する共同研究を継続している。

(8) その他

盲導犬ユーザーへのドッグフード販売ならびに発送を、一般社団法人盲導犬支援センターに外部委託した。

1-2. 相談事業

(1) 盲導犬事業に関する苦情・相談等への取り組み

2018年度に受けた苦情ならびに相談の状況は、総数31件で次の通りであった。

①盲導犬ユーザーの盲導犬に対する扱い・マナーについて 16件

うち6件が当協会の盲導犬ユーザーであったが、状況を確認したところ指導が必要な対象者は1名のみであった。その該当ユーザーに対しては、指導を行い、再発防止を図った。

②入店、受け入れ拒否および受け入れに関する相談 11件

- ・盲導犬ユーザーからの相談10件
病院3件、飲食店2件、鉄道2件、宿泊施設・劇場・企業各1件
- ・事業者からの相談1件
テナント管理業者から対応改善を図るための相談

③盲導犬ユーザーの対応についての相談 2件

- ・横断時に車道に出て歩いているユーザーへの対応依頼
- ・盲導犬医療費の取り扱いについて

④その他の相談 2件

- ・キャリアチェンジ犬オーナーの対応について

- ・入院中の盲導犬の管理について

(2) 行政窓口との連携

盲導犬ユーザーの盲導犬の扱いに関する苦情について、全国盲導犬施設連合会と連携し行政窓口への報告を行った。

1-3. 啓発普及事業

(1) 啓発普及活動

①盲導犬ならびに視覚障害に関する普及啓発

- 講演活動（学校・企業・社会奉仕団体等からの依頼）
 - ・学校での講演119件（うち、56件は盲導犬ユーザーが講演）
 - ・イベントならびに社会奉仕団体の例会、企業研修等での講演54件（うち、13件は盲導犬ユーザーが講演）
- 視覚障がい者に対し盲導犬体験歩行を行った。
 - ・彦根市人権のまちづくりフェスタ（2018年9月）
 - ・京都ライトハウスまつり（2018年10月）
 - ・あい丹後ふれあいまつり（2018年11月）
 - ・第18回すまいる会（2018年11月）
 - ・第6回兵庫県視覚障害者福祉まつり（2018年12月）
 - ・第5回ルミエールフェスタ（2018年12月）
 - ・PR洛楽サロン in 福知山（2019年3月）
- 視覚相談会（主催 京都府身体障害者更生相談所6回）
 - ・開催地 八幡市、綾部市、伊根町、亀岡市、城陽市、向日市
- 南部サテライト事業（主催 京都ライトハウス・京都視覚障害者支援センター）
 - ・開催地 八幡市
- 定例見学会
 - ・定例見学会（4月を除く毎月概ね第3日曜日）
参加者数418名（前年度比74名増）
 - ・その他の見学51団体（前年度比4団体増・20名増）
- 機関紙「ハーネス通信」の発行
 - ・各種媒体で年4回発行し、盲導犬ユーザーが安心して出かけ、京都ならではの体験を楽しめる観光施設の紹介を特集した。
- ホームページのブログならびにSNSを頻繁に更新し、情報発信に務めた。
- ショートムービー作成
 - ・盲導犬の訓練ならびにボランティア活動に焦点をあてた啓発用ショートムービーを作成し、啓発活動時に公開を始めた。

(2) 協会主催ならびに共催イベント

①協会主催イベント

- ・オープンデー 参加者約460名（2018年4月29日）
- ・偲ぶ会（慰霊の日）（2018年10月21日）
- ・ボランティアズ・デー（2018年11月3日）

②盲導犬貸与報告会（2019年3月3日）

「ガレリアかめおか」コンベンションホールにて、2018年度2月末までに共同訓練を修了した11ユニットのうちの9ユニットの盲導犬ユーザーの参加を得て、約300名の来場者に貸与に関する報告とともに啓発を行った。

③京都府の視覚障がい者団体の共催イベント

- ・「白杖安全デー」（2018年12月23日）
- ・「あい・らぶ・ふえあ」（2019年2月14日～17日）

④安全なホーム上歩行を実現するための鉄道会社との連携

- ・JR西日本「サービス介助士」養成講座
同社が実施している上記社員研修に、盲導犬ユーザーとともに講師として協力した。

2. 管理部門

(1) 安定した事業運営のための取り組み（2019年3月末日現在）

①賛助会員

総賛助会員数 1,300件（前年度実績 1,259件）

- ・後援会員 29件（前年度比 2件増）
- ・法人会員 30件（前年度比 1件増）
- ・正会員 1,164件（前年度比 38件増）
- ・マンスリー会員 65件（前年度比 3件減）
- ・青少年会員 12件（前年度比 3件増）

②募金箱

- ・設置件数 1,784件（前年度実績 1,898件）
- ・回収金額 11,132,280円（前年度実績 11,345,180円）

③街頭募金

- ・実施回数 32回（前年度実績 42回）
- ・募金金額合計 3,224,710円（前年度実績 3,554,606円）
- ・関西盲導犬協会ボランティアの会「クイールの会」ならびに学生の協力を得て実施した。

④募金型自動販売機

- ・設置台数 73台（新規 1台、撤去 3台）
- ・協力企業 関西キリンビバレッジサービス(株)・アサヒ飲料販売(株)・(株)ジャパンビバレッジウエスト・他 4社

⑤パンフレットの作成

寄付ならびに事業への協力を呼びかけるためのパンフレットを刷新した。

⑥管理部門業務の整備

法律に則った規程の改訂ならびに業務の見直しを図り、支出の削減に努めた。

3. 施設整備計画

(1) 施設の改修等

①ハーネス研修センターの改修

専門家による調査の結果、早急の対策は必要ないとの見解であったため、改修は見送った。

②既存棟の施設整備計画案の作成

旧犬舎の改築を含め、建物周辺エリアの活用については当協会の将来像を検討する職員会議を始めた。

(2) 備品購入等

フォローアップ専用車両 1台を購入した。

4. その他

(1) 職員について

		正職員数	有期契約 職員数	盲導犬歩行指導員資格取得年数
管理部門	所長	1		
	事務長	1		
	経理		1	
	渉外	1		
	総務	1		
	募金箱回収		1	
公益事業 部門	訓練部長 (歩行指導員兼任)	1		2002年1名
	歩行指導員 (FU専任を含む)	3		2002年1名 2014年1名 2016年1名
	盲導犬訓練士	1		訓練士有資格者
	訓練担当者	2		
	パピー担当者	1		
	繁殖担当者	1	1	正職員1名 訓練士有資格者
	木香テラス※担当者	2		2名 訓練士有資格者
	テラス事務担当者	1		
	普及啓発	2		
計		18	3	

(2) 訓練士等のキャリアアップの状況

訓練犬の訓練頭数ならびに視覚障がい者への歩行指導回数等、日本盲人社会福祉施設協議会の自立支援部会盲導犬委員会ならびに認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の策定した基準に則り、訓練士ならびに歩行指導員を養成中。その他に、国際盲導犬連盟、アジアブリーディングネットワーク、視覚障害リハビリテーション協会等の主催するセミナーや会合などに積極的に参加させ、訓練技術や視覚障害その他に関する知識の取得を図らせている。

(3) 訓練について

犬のステージ	期間 (犬年齢)	訓練のステージ	担当職員	内容
子犬	生後 60 日～ 1 歳	パピーウォーキング	パピー担当	パピーウォーカー（子犬飼養ボランティア）宅での基本的な躰や生活
訓練犬	1 歳～ 約 2 歳	候補犬の訓練	訓練士 歩行指導員 犬舎管理担当者	直線歩行・障害物回避・段差発見・公共交通機関の利用・ステイ（待つこと）・生活訓練（食餌・排泄等）
	約 2 歳	共同訓練 (2 週間～4 週間)	歩行指導員	視覚障がい者と訓練犬との歩行訓練ならびに生活訓練
盲導犬	2 歳～ 10 歳	フォローアップ	歩行指導員	盲導犬ユーザーが安全な歩行かつ快適な生活を継続するために、盲導犬貸与後年 1 回以上のフォローアップを実施

(4) 施設について

①施設の場所

〒621-0027 京都府亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2

②敷地面積

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-2 (5,715.71m²)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-3 (2,486m²)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷18-4 (393m²)

亀岡市曾我部町犬飼未ヶ谷24-2 (105.98m²)

③建物

a. 訓練センター棟（鉄筋コンクリート2階建て） 826m²

事務所・厨房・食堂・ホール・宿泊室（7室）・犬用医務室・犬舎

b. 新犬舎（鉄骨平屋建て）犬室4室 94.60m²

c. ハーネス研修センター（木造2階建て） 宿泊室3室 厨房・食堂 122.84m²

d. 訓練棟「木香テラス」（木造 一部2階建て） 549.79m²